

<h1>沼小だより</h1>	北九州市立沼小学校 文責 校長 米田 幸光	自ら考え 正しく判断し 知・徳・体の調和のとれた 人間性豊かな児童の育成
----------------	--------------------------	--

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

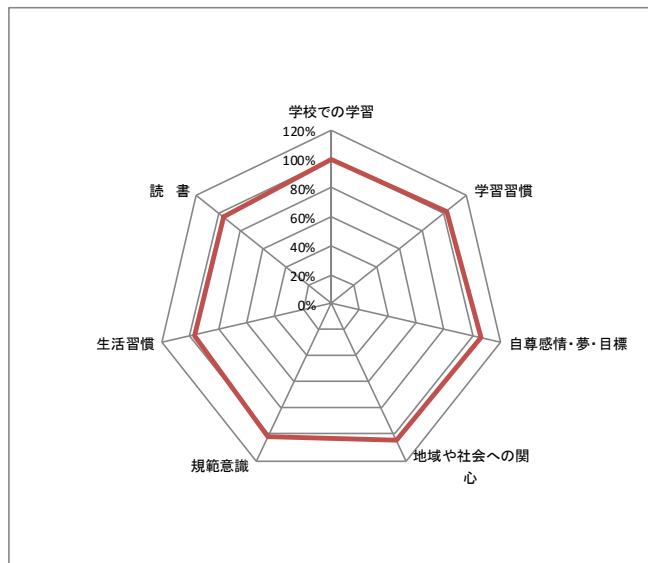
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>無解答率は低く、積極的に解答に取り組む姿勢がみられる。</li> <li>「読むこと」と「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、問題の正答率が低かった。</li> </ul>	下回っている
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>無解答率は低く、積極的に解答に取り組む姿勢がみられる。</li> <li>問題の意図に沿って、解答に必要な数値や情報を適切に読み取る力が低かった。</li> </ul>	下回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



**質問紙調査の結果分析**

・「自分には、よいところがあると思いますか。」について、肯定的な回答率が全国平均を上回っている。また、「将来の夢や目標を持っていますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の肯定的な回答についても、全国平均を上回っている。児童の自尊感情をさらに高めつつ、将来の夢の実現に向けた具体的な目標設定をしたうえでキャリア教育を行っていくことが必要である。

・日々の学習習慣が定着してきている一方で、週末の学習時間が短い傾向にある。また、読書時間も短いので、適切な家庭学習課題の設定や読書活動を活発にする取組を行っていく必要がある。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

・朝学習の時間に、3年生以下の学年では、言葉や漢字、たし算、ひき算、かけ算、割り算などの課題に繰り返し取り組み、基礎的な学力の定着を図る。また、4年生以上の学年では、「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する。」「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。」問題に係る課題に取り組むようにする。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

・学校スタンダードに基づいた家庭学習課題を設定し、日々の学習習慣の定着を図る。また、学校図書館の利用や電子図書館の利用を啓発し、学校内と家庭での読書活動の充実を推進していく。